

# 四谷の

# 千枚田だより



第 211 号

四谷の千枚田で生産するうるち米のほとんどが「ミネアサヒ」で湧き水、天日干しと、手間暇かけたミネアサヒはまさに天下一品、まぼろしの米と益々評価されるであろう。

## ミネアサヒが特Aに輝く

(一財)日本穀物検定協会は三月四日、令和二年産米の食味ランキングを公表した。特Aにランクされたのは五十三産地品種で、愛知県が三河中山間(豊田、岡崎、新城)で生産される「ミネアサヒ」が同県初の特Aを獲得した。

ミネアサヒは愛知県農業総合試験場が約四十年前前に開発した品種で、ほどよい粘りとうま味を両立したのが特徴という。主に新城市や豊田市で生産されている。

食味ランキングの対象産地品種は道府県の奨励品種であることや、作付面積が一定の基準を満たすなどで選定している。白飯の「外観・香り・味・粘り・硬さ・総合評価」の六項目について、複数産地コシヒカリのブレンド米を基準米とし、同協会が選抜、訓練した専門の食味評価員二十名が評価する。基準米よりも特に良好なものを「特A」、良好なものを「A」、基準米とおおむね同等なものを「Aダッシュ」、やや劣るを「B」、劣るを「Bダッシュ」として

## 新ロゴマーク

デイスカパー農山漁村(むら)の宝第一回(第七回)選定地区にデイスカパーむらの宝のロゴマークが新しくなり、新マークの「のぼり」が三月二十二日、農林水産省農村振興局 都市農村交流課から大(高さ2m弱)が三枚、小(卓上サイズ)が一枚の「のぼり」が選定地区に無償配布された。



鞍掛山麓千枚田保存会は第六回デイスカパー農山漁村の宝「コミュニティ部門」に選定受賞。配布された「のぼり」はデイスカパー選定の

実績と、「デイスカパーむらの宝」受賞地区としてのアピールに活用する所存である。

## 校外学習

三月二十三日、地元鳳来寺小学校二年生と四年生が校外学習に千枚田を訪れた。

毎年、五年生は千枚田の学習田で稲作体験や自然環境学習を行っており、新学期から五年生として千枚田に取り組むための指導のお願いと案山子立て、観光客に喜んでもらうため、児童たちの考えでのクイズ方式の案内図などを設置した。

二年生はまだ千枚田のことはほとんどわからない状態で、当日は千枚田のことを簡単に説明、また、児童たちが事前に考えてきたことをインタビュー形式で質問を受けた。

## 以下Q&A

Q 「せんまいだ」の名前の由来。  
A 千九百七十一年(約五十年前)には約千三百枚があった。小さな棚田が数多く見られるところを千枚田と言われている。

Q 四谷の千枚田で働いている人の数。  
A 二十九戸

Q 四谷の千枚田は何年前からありますか。  
A 記録はないが、室町時代には、すでにあったと云われる。

Q 田んぼは何枚ありますか。  
A 現在四百枚程度。  
Q 田植えにはどれくらい時間がかかりますか。  
A 田んぼも小さく手間がかかる。

Q 田植えは何月ごろにしますか。  
A 五月のゴールデンウィーク頃。  
Q お米は何か月でできますか。  
A 約四カ月。

Q 稲(苗)はどこから仕入れますか。  
A 農協  
Q 稲は何cmまで大きくなりますか。  
A 八十センチくらい。

Q 冬はどんな仕事をしていますか。  
A 田お越し。(土を若がえさせる)  
三月三十日、担任の先生が十人の児童たちの感想文(書きき)を届けてくれた。



鳳来寺小学校 3年生 2021.3.22

### 生産活動

三月二十七日、中山間地帯直接支払い、四谷集落協定(二十九戸)に於ける生産活動の一環とした共同作業(沢浴いを主体に環境整備)が行われた。

### 涅槃会

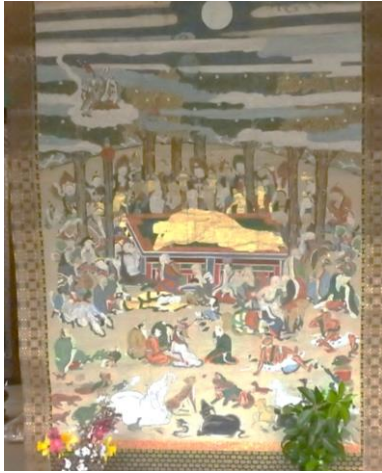
三月二十七日、千枚田の集落身平橋組の海源寺で「お釈迦様」が祀られた。

当日は四谷集落協定の生産活動で寺庄屋も出役。お寺にユニークな表示が目に入ったので紹介する。

○鞍掛と棚田を見守る海源寺、今年も豊作であります様に!

○ちよと一服、だんごとお茶で棚田を眺め、明日を思い、田を思い、ゆつくり、ゆつくり行(生)みましょう。

寺庄屋より



涅槃会とは、お釈迦様の亡くなられた日に行われる法要のことで、涅槃

槃(肉体をなくすとともに悟りの境地)に入ったお釈迦様のことをしのび、亡くなったときの様子を描いた涅槃図が掲げられる。一年間にこの日だけが掲げられるため、貴重な仏教美術に親しむことのできる機会でもある。

涅槃図は、お釈迦様が頭を北に向け、心臓のある左側を上にし、西を向いて横たわっている様子が描かれおり、お釈迦様のその寝姿から、「北枕」など現在の葬式のしきたりにもなっている。また、西には「極楽浄土」があるとも云われる。…大病やケガなんかで生死をさまよった時、三途の川らの向こうにきれいなお花畑があり、来い、とかおいでんと誘われたが、帰ってきちゃった(生き返った)。…などと稀に聞く。

涅槃図には、お釈迦様の周りに多くの弟子や動物たちが集まり、周囲に生えている沙羅双樹の木は白い花を咲かせて悲しい気持ちを表すなど、あらゆる表現によって入滅の悲しみが伝わってくる。

### 千枚田に泳ぐ鯉のぼり

平成二十六年以来、毎年揚げていた鯉のぼりも昨年はコロナ禍のため中止。各方面から「鯉のぼりは揚げていますか?」などの問い合わせも多いことから、三月二十二日、コロナ禍緊急事態宣言が全面解除さ

れたことを契機にコロナ禍で疲弊した住民に「活きる」を提供できればとの思いから、掲げてみた。



また、千枚田を耕す若手(ホープ)中村史樹は長男仁くんの誕生を祝し、自作地の農具舎に鯉のぼりを揚げた。(写真)

仁くんの爺ちゃん、在所の爺ちゃんも朝な、夕なに、鯉のぼりの揚げ降ろしに「しょんない…かなわん…」と言いなながらも、幸せいっぱいだ。

### 地域活性化伝道師

内閣府から四月一日付で地域活性化伝道師(分野II地域コミュニティ、集落再生・農林水産業・観光交流・環境)

に引き続き登録された。昨年度はコロナ禍のため、ほとんどが活動中(休止)。こそばゆい一年であった。

地域活性化伝道師  
小山 舜二 殿

平素は、地域の活性化のためご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
今般、地方創生の本格展開へ向けた取組が全国各地で進められているところ、専門家による指導、助言が求められております。  
貴殿におかれましては、これまで培われてこられた専門知識を活かし、「地域活性化伝道師」として、全国の地方公共団体等が抱える様々な課題解決に向けた取組に対し、是非ともご協力を賜りたく、何卒、よろしくお願いたします。

登録期間 令和3年4月1日  
~令和4年3月31日

内閣府 地方創生推進事務局長 眞鍋 純

### 伝道師の役割(依頼原文)

地域からの相談に対し適切な助言や取組事例の紹介を行うことができるスペシャリストとして、地域の課題解決に向け、現地等の指導・助言をいただきますよう、宜しくお願致します。なお、内閣府や地方公共団体、地域から派遣について依頼させていただきます際は、ご対応いただきますようお願い致します。

### 今後の予定

- ・五月十三日、豊橋調理製菓専門学校 校の田植え
- ・五月十七日、市内中部小学校五年生 校外学習

行 令和三年四月十五日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
発 文 責 小山 舜二